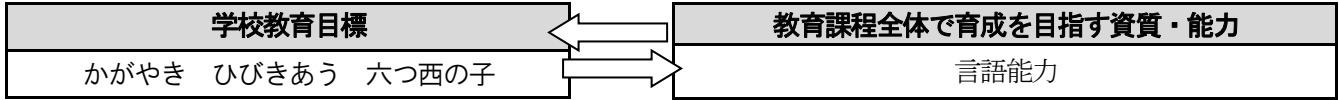


# 横浜市立六つ川西小学校

## 令和3年度 学力向上アクションプラン

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



#### (2) 中期取組目標

| 学校経営中期取組目標   |
|--|
| ○学校教育目標の具現化を目指し、計画的、組織的な学校経営を行い、一人一人を大切にしている教育を実践するとともに、保護者、地域から信頼される学校を目指します。<br>○様々な研究や研修を通して、教職員の授業力や教師力を高め、教育に意欲と使命感をもって取り組むチーム「六つ西」を作ります。<br>○基礎・基本の確実な定着を図るとともに、友達の意見や考えを参考にして、自分らしさを生かして活動したり表現したりすることのできる子どもたちを育てます。<br>○児童指導・特別支援教育を図るとともに、小中連携を深めながら、小中一貫教育を進めていきます。 |

#### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野                                | 取組目標  | 具体的取組   |
|---------------------------------------|---|---|
| <b>確かな学力<br/>(学習指導)</b><br>担当 学びの質の向上 | 幅広い知識を身に付けるとともに、学んだことを基に、「柔軟に思考したり判断したり表現したりする力」を育てる。 | ①重点研究において「自らかかわり 共に育つ 六つ西の子」を主題に置き、対話的な学びの実現に向け授業研究を通して学校教育目標の具現化を図ります。<br>②朝の時間の国語・算数を中心とした取組や思考ツールの活用を通して学力向上を目指します。<br>③学習規律を全学年で共通し、安心して学べる環境を作ります。 |

### 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

**(1) 学力の概要と要因の分析 (令和元年度)**  
 全体的には、横浜市の平均を下回る学力である。しかし、意識調査においては、横浜市平均に届いており、学習に対して前向きな意識を持っているという結果が出ている。これからも基礎・基本を定着させ「できるようになった」という気持ちを大切にすることや、自分たちでたてた課題を解決することを大切にする必要がある。

**(2) 教科学習の状況 (令和元年度)**

- 国語科：知識・理解の正答率が高い学年が多い。しかし、書くことについての結果が低いため、知識を基にして考えや意見を論理的に表現する力の育成が課題である。
- 算数科：数学的な考え方を問う問題の正答率が低い。
- 社会科：偏りがなく、各領域においてバランスよい正答率である。
- 理科：知識・理解に比べ、思考・表現の項目が低い。言葉の意味を的確に捉えるのに加え、それをを用いて説明する力などを育成する必要がある。

**(3) 経年変化の状況と要因の分析 (学習・生活意識調査も含めて分析)**  
 どの学年においても、教科ごとの学習意欲が高ければ高いほど、学力テストの結果も比例して高い数値がでる傾向がある。意欲を大切にしながら知識を身に付け、応用する問いにも挑戦できるような学習への粘り強さを育てていくことが重要である。

### 3 令和3年度 教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

|        | 育成を目指す<br>具体化した資質・能力  | 具体的取組  |    |
|--------|---|--|----|
|        |   | 前期   | 後期 |
| 1年     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆感じたことを言葉にする力</li> <li>◆身近な語彙の豊かさ</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が見つけたことや、気づいたことを表現するための言葉を学び、伝えたり書いたりする活動を設ける。</li> <li>○各教科に合った語彙表を提示し、適切な言葉を選び、発言や文章に生かせるようにする。</li> </ul>                   |    |
| 2年     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆事実等を正確に理解する力</li> <li>◆身近な語彙の豊かさ</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いたり、5W1Hなど相手に伝わる具体的な文章を書いたり、話したりする場を設定する。</li> </ul>  |    |
| 3年     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆事実等を正しく解釈し、自分の考えを形成する力</li> <li>◆感情語彙の豊かさ</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章や人の話から正しく要旨を掴み、その事柄に対して自分はどうか知識経験を基に意見をもったり、自分の意見と比べたりする活動を行う。</li> <li>○意見や事象に対して、自分の考えや思いを言語化する場をつくる。</li> </ul>             |    |
| 4年     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝え合うことで自分の考えを深化させる力</li> <li>◆感情語彙の豊かさ</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の考えや意見を聞いた時に、自分の感想をもち、それを言葉や文章で他者に発信できるようにする。</li> <li>○文章や表・事象などの比較する活動の中で、気付く喜びに触れる体験を位置付けてより学びが深まるようにする。</li> </ul>         |    |
| 5年     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆目的や意図に応じて伝えるべきことを整理する力</li> <li>◆言語の豊かさへの気づき</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えや意見を一方的に伝えるのではなく、各学習に応じた意見や感想を、伝え合うようにする。</li> <li>○意見や感想を自分の言葉でまとめたり、要点を正しくとらえるようにする。</li> </ul>                           |    |
| 6年     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆伝え合うことで集団の考えを発展させる力</li> <li>◆言語の豊かさへの気づき</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○対話的な学びの場を保障し、互いの考えを尊重しながら考えを広げたり深めたりする場面を設定する。</li> <li>○自分の思いや考えを言語化するために、週の振り返りやノートづくりの工夫ができるようにする。</li> </ul>                 |    |
| 個別支援学級 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆感じたことを言葉にする力</li> <li>◆相手の思いを受け止めて聞く力</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎週月曜日に、日記を書く言語活動を取り入れる。また、自分の感じたことや表したいことに必要な語彙を増やしていく。</li> <li>○ソーシャルスキルトレーニングを取り入れて、相手の気持ちを予測したり、受け止めたりする活動を取り入れる。</li> </ul> |    |